

大相撲における女人禁制の研究 IV

—— 外人観客の意識調査 ——

生沼芳弘*¹・了海 諭*²・山本恵弥里*³

A Survey of Nix Women in the Sumo Ring IV

—— The Case of Gaijin spectators' opinions ——

by

Yoshihiro OINUMA, Satoru RYOKAI and Emiri YAMAMOTO

Abstract

This survey made clear the number of Gaijin (non-Japanese) spectators at the Grand Sumo Tournament (GST). There had no survey conducted to Gaijin, so far. The result showed that 303 of 5606 spectators (5.4%) were Gaijin, and 116 of Gaijin spectators (38.2%) were women. The purpose of this survey is to look at the opinions of “Nix Women” and conventional Sumo patterns from viewpoint of the Gaijin spectators. The survey carried out questionnaires for the Gaijin audiences who watched the GST on January 20th, 2005. As results, it was clear for the Gaijin spectators at GST to disagree with “Nix Women.” Furthermore, they thought that women should come to the sumo ring when the closing ceremonies hold. Their answers are the reverse of the opinions among the Japanese spectators.

I はじめに

2005年大相撲九月東京場所千秋楽はモンゴル出身の横綱朝青龍と、ブルガリア生まれの琴欧州による外人力士同士の優勝決定戦になった。外国出身力士の先駆者は1964年来日した高見山である。その後1990年前後から増え始め、現在は全体で59名で力士全体（736名）の約8%を占めている。幕内の外人力士は12名で幕内力士全体（44名）の

28.6%を占めている。外人力士については拙著「大相撲における外国人力士—ハワイ出身力士—」（生沼芳弘，「社会的かかわりにおける運動行動」東海大学出版会，1999，139-158頁）を参照して下さい。

外人力士の増加に伴って外人観戦者も増えていると思われるが、これまで調査されたことはなかった。昨年十一月九州場所の10日目（2004年11月23日（火）勤労感謝の日）に筆者が共同研究者等

* 1 東海大学体育学部体育学科 * 2 東海大学体育学部非常勤助手 * 3 東海大学大学院体育学研究科

と行った調査では、外国人と見做される観客は約120名で全体(4202名)の2.9%であった。今年の一ヶ月東京場所12日目(2005年1月20日木曜日)の調査では、外国人と見做される観客は約303名で全体(5606名)の5.4%であった。東京場所のほうが福岡場所より外人観客の割合は高かった。

本研究の目的は、前述の2回にわたる調査の結果報告と大相撲を観戦する外人観客の大相撲についての意識を、女人禁制と大相撲の伝統の視座から明らかにすることである。

II 調査方法

1. 2004年十一月福岡場所

福岡国際センターで行われた大相撲十一月場所10日目2004年11月23日(火)勤労感謝の祭日に、一般の日本人の調査と平行して外人観客への調査を行った。英文の15項目からなる質問紙(後述の調査結果参照)を用意し、入り口のゲート付近で開場の朝8時30分から配布、外人と見做される約120名に依頼したが、英文の質問紙を受け取った外人は82名であった。回収は全取り組み終了後に出口付近で行った。質問紙配布時に添えた返信用封筒による郵送回収もおこなった。調査に協力していただいた回答者には、お礼として番付を渡した。回収した質問票は48票、回収率は58.5%であった。

2. 2005年1月東京場所

両国国技館で行われた大相撲正月場所12日目2005年1月20日(木)に、外人観客だけにアンケート調査を行った。その他の観客については、入場者数をカウントした。英文の15項目からなる質問紙(後述の調査結果参照)を用意し、入り口のゲート付近で開場の朝8時30分から配布、外人と見做される約303名に依頼したが、英文の質問紙を受け取った外人は250名であった。回収は全取り組み終了後に出口付近で行った。質問紙配布時に添えた返信用封筒による郵送回収も行った。回収した質問票は154票、回収率は61.6%であった。前回と同様に調査に協力していただいた回答者には、お礼として番付を渡した。

英文の調査票を受け取ってくれた外人の割合は、

福岡場所が68.3%・東京場所が82.3%で14%の違いが出てしまった。これは福岡場所では筆者が1人で英文調査票を配布したのに対して、東京場所では早稲田大学のリー・トンプソン(Lee Thompson, USA)と東海大学のアニー・メナード(Annie Menard, CANADA)の両外国人先生に英文調査票配布のお手伝いの結果と考えられる。

III 調査結果

ここでは回収された調査票の多い東京場所の結果報告をメインとし、福岡場所の結果は補足的に扱うことにする。従って、本章で扱う図表は全て東京場所の資料である。集計の方法は単純集計とクロス集計を用いた。

1. 年齢・性別・国籍

福岡場所で回収された調査票48票のうち、31票が男性、17票が女性であった。彼らの平均年齢は31.6歳(SD:12.87)、男性が32.0歳(SD:11.21)、女性が30.8歳(SD:15.80)であった。日本人観客の平均年齢が約50歳弱であるので、外人観客の年齢は若い。彼らの国籍は、アメリカが16名、カナダ7名、オーストラリア5名、ドイツ4名、ニュージーランド3名、イギリス・スウェーデン・チェコ・オランダが2名、サモア・スロバキア・インド・スイス・オーストリアが1名であった。英語圏の回答者が多かった。

東京場所で回収された調査票154票のうち、86票が男性、66票が女性、1票が無記入であった。彼らの平均年齢は32.4歳(SD:10.15)、男性が32.4歳(SD:9.86)、女性が32.3歳(SD:10.60)であった。外人観客の年齢は20代・30代が最も多い(表1図1)。

彼らの国籍は表2のとおりで、アメリカ合衆国が53名で最も多く、以下イギリス21名、オーストラリア20名、カナダ17名と英語圏が多く、次にフランスの7名、ドイツとノルウェーの4名がくる(表2)。

東京場所の外人と見做される観客303名(男性:187名、女性:116名)の入場時間は図2のとおりで、ピークが2:00と4:00の2回であった。全体の観客5606名(男性:3418名、女性:2188

表1 外人観客の年代別人数

年代	男性	女性
10代	3	1
20代	35	36
30代	29	15
40代	13	7
50代	6	6
60代	0	1
合計	86	66
総計	152	

表2 外人観客の国籍

国籍	1 男性	2 女性	合計
1 アメリカ	34	19	53
2 イギリス	15	6	21
3 オーストラリア	9	11	20
4 カナダ	6	11	17
5 フランス	5	2	7
6 ドイツ	2	2	4
7 ノルウェー	2	2	4
8 モンゴル	1	2	3
9 スウェーデン	1	1	2
10 アルゼンチン	1	1	2
11 オーストリア	1	1	2
12 ベラルーシ	1	1	2
13 ニュージーランド	1	1	2
14 ウクライナ	1	1	2
15 デンマーク	1		1
16 ロシア	1		1
17 EU	1		1
18 イスラエル	1		1
19 アイルランド	1		1
20 ブラジル	1		1
21 日本	1		1
22 マレーシア		1	1
23 オランダ		1	1
24 イタリア		1	1
25 スペイン		1	1
26 フィンランド		1	1
合計	87	66	153

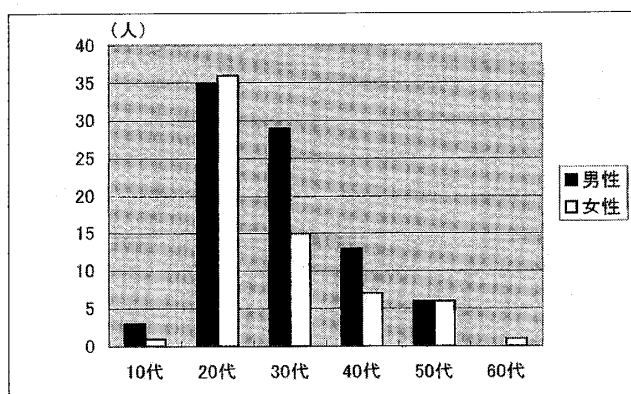


図1 外人観客の年代別人数

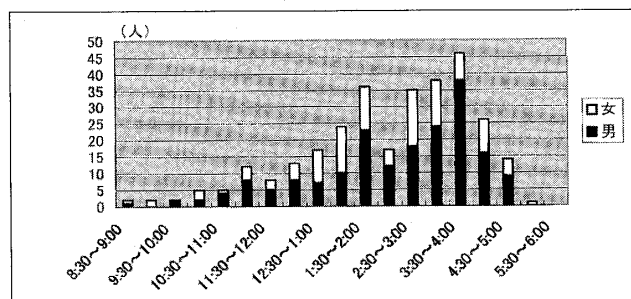


図2 外人観客の30分毎入場者数

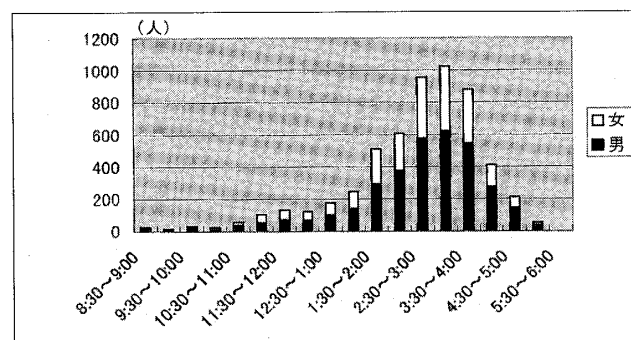


図3 東京場所の30分毎入場者数

名)は3:00にピークがあるのに対して(図3), 外人観客は早く入場しているグループがあった(図2 図3)。

2. チケットの入手方法・種類・観戦回数

外人観客のチケット入手方法は、国技館切符売場が最も多く次は友人から入手している(表3)。チケットの種類は2階のイス席が多く、当日に購入している者が多い(表4)。外人観客は当日券を入手するために少し早めに国技館に来るのであ

表3 外人観客のチケット入手方法

方法	性別		合計
	1 男性	2 女性	
1. 国技館切符売場	56	47	103
2. 相撲案内所 (茶屋)	2		2
3. 相撲協会電話予約センター		2	2
4. チケットぴあ	2	2	4
5. 旅行代理店	2	1	3
6. コンビニエンスストア	1	2	3
10. 知人・友人から	20	8	28
11. その他	3	3	6
合計	86	65	151

表4 外人観客のチケット種類

種類	性別		合計
	1 男性	2 女性	
1. 桝席 (前売り)	9	4	13
2. 桝席 (当日券)	1	1	2
3. イス席 (前売り)	17	12	29
4. イス席 (当日券)	50	37	87
5. その他	7	11	18
合計	84	66	150

表5 外人観客の観戦回数

回数	性別		合計
	1 男性	2 女性	
1	66	54	120
2	8	6	14
3	6	1	7
4	1		1
5	1	2	3
6	1		1
7		1	1
10	1	1	2
15	1		1
33	1		1
35		1	1
100	1		1
合計	87	66	153

ろう。外人観客の80%が初めての相撲観戦であり(日本人も4割強が初観戦者である),最後の取組まで観ずに途中で帰る外人の姿も見られた(表5)。

3. 女人禁制

女人禁制に関する11項目について,以下男女別に賛成 Agree と反対 Disagree に分けて示す。

1) 土俵の女人禁制を守るべきか

The ring remain closed to women.

土俵の女人禁制を守るべきかということについて,女性23.7%,男性36.6%,全体では31.2%が女人禁制を守るべきであると回答している。従って,外人観客の70%は女人禁制に反対であった(図4)。

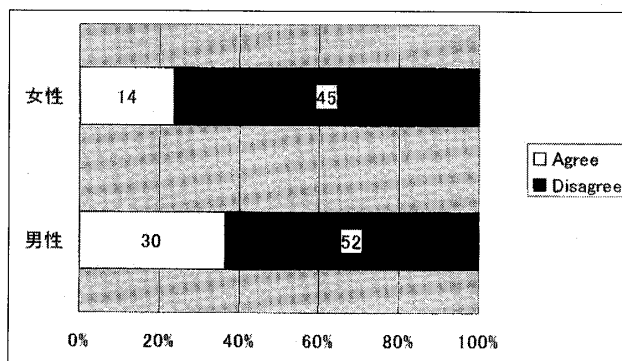


図4 The ring remain closed to women

2) セレモニーで女性が土俵に上がること

Allowing women in the Ring (Dohyo) for ceremonies.

セレモニーで女性が土俵に上がることについて,男性61.0%,女性の80.3%,全体では69.2%が女性がセレモニーで土俵にあがることに賛成であった。特に女性の8割超が賛成であった(図5)。

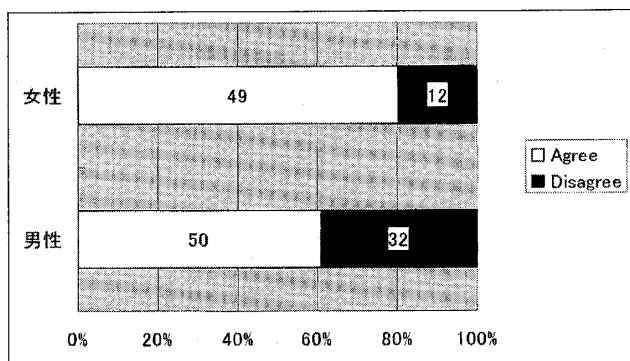


図5 Allowing women in the Ring (Dohyo) for ceremonies.

3) 表彰式に女性が土俵に上がる

Women should be allowed in the ring for the awards ceremony.

表彰式に女性が土俵に上がることについては、男性60.6%、女性85.0%、全体で66.7%が賛成であった。特に女性の85%が賛成であった(図6)。

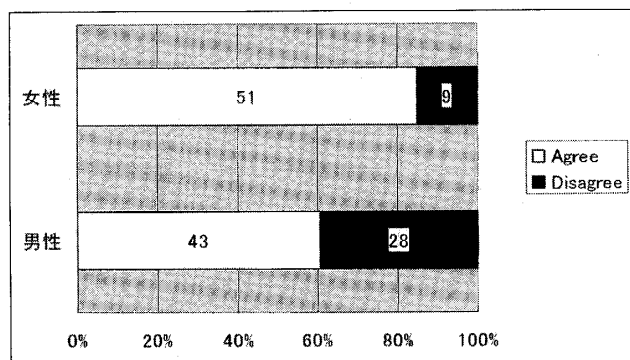


図6 Women should be allowed in the ring for the awards ceremony.

4) 女性力士が土俵に上がること

Allowing women wrestlers in the Ring.

女性力士が土俵に上がることについては、男性48.1%、女性63.9%、全体では54.9%が賛成であるが、男性は反対が上回っている(図7)。

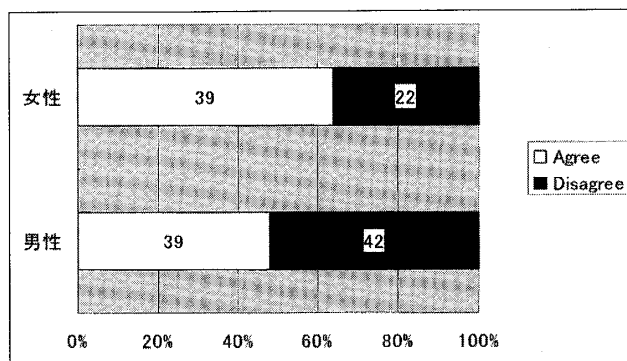


図7 Allowing women wrestlers in the Ring.

5) 女性が土俵に上がれば女性ファンが増えるのではないか

If women are allowed in the ring, the number of female Sumo fans will increase.

女性を土俵に上げれば女性ファンが増えるのではという項目については、男性57.5%、女性73.8%、全体では64.5%が増えると思っている(図8)。

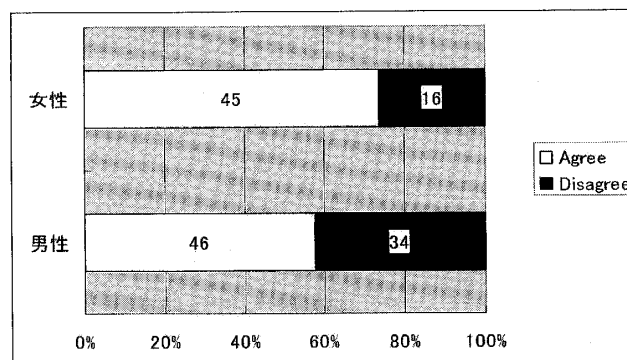


図8 If women are allowed in the ring, the number of female sumo fans will increase.

6) 男女平等の時代にナンセンスではないか

It is nonsense in the age of equality of the sexes.

男女平等の時代にナンセンスではないかの項目については、男性48.8%、女性70.2%、全体で57.6%がナンセンスと思っているが、男性は女人禁制をナンセンスとは思わないが上回っている(図9)。

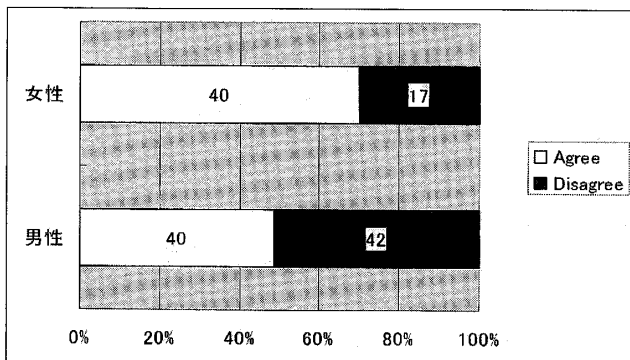


図9 It is nonsense in the age of equality of the sexes.

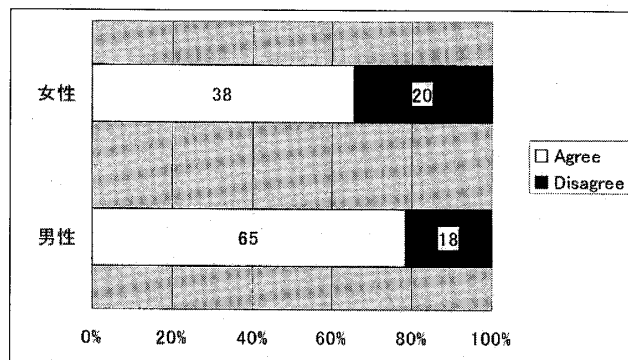


図11 The decision must be made by the staff of the Japan Sumo Association.

7) 何でも男女平等はおかしいのではないか
It is wrong for the equality of the sexes to be applied to everything.

何でも男女平等はおかしいのではという項目については、男性の61.2%，女性の42.4%，全体では53.5%が平等はおかしいとしている。しかし、女性はおかしくないが上回っている（図10）。

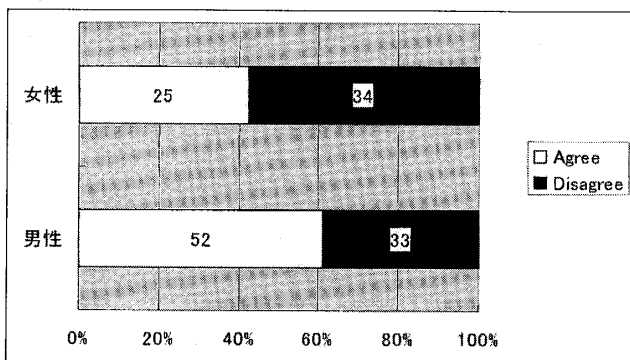


図10 It is wrong for the equality of the sexes to be applied to everything.

8) その判断は相撲関係者に任せるべき
The decision must be made by the staff of the Japan Sumo Association.

判断を相撲関係者に任せるべきかという項目については、男性78.3%，女性65.5%，全体で73.0%が相撲関係者に任せるべきだとしている（図11）。

9) 伝統を重んじる社会があってもよいのではないか

A society that gives importance to traditional customs should be allowed to exist.
伝統を重んじるような社会があってもよいのではないかという項目については、男性の90.5%52，女性の88.1%，全体の89.5%が大相撲のような社会があってもよいと考えている（図12）。

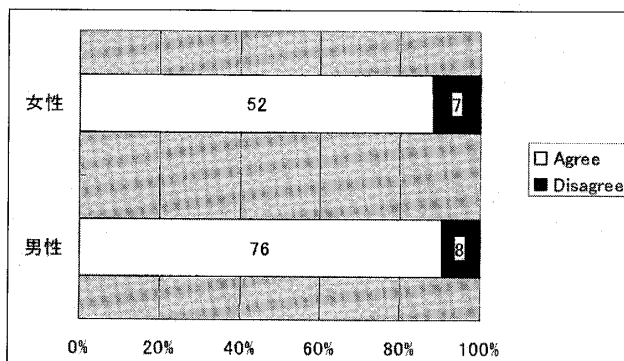


図12 A society that gives importance to traditional customs should be allowed to exist.

10) 男性社会に女性がシャシャリ出るべきではない

Women shouldn't try to push their way into a man's world.

男性社会に女性がシャシャリ出るべきではないという項目については、男性が28.9%，女性が19.7%，全体では25.0%が出るべきではないとしており、やはり女性のほうが男性社会進出に賛成が多い（図13）。

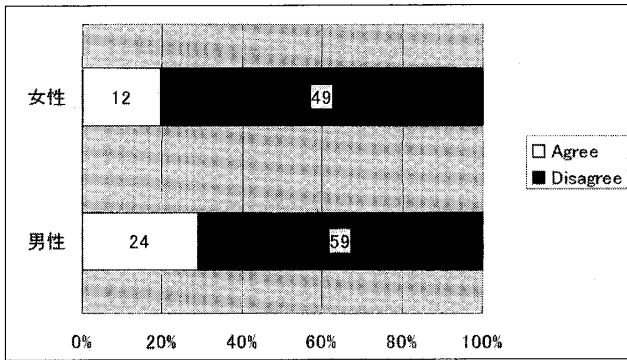


図13 Women shouldn't try to push their way into a man's world.

11) 女性が天皇になること

Allowing a woman to become Empress of Japan.

女性が天皇になることの項目は、男性の84.1%、女性の95.1%が、全体としては88.8%が賛成であった。女性の場合、女帝に反対する者が3名だけであった(図14)。

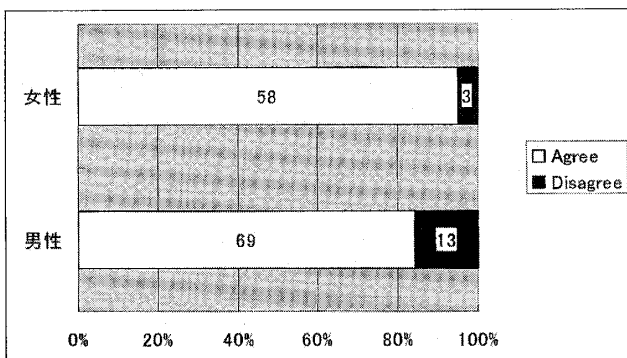


図14 Allowing a woman to become Empress of Japan.

4. 大相撲の伝統

大相撲の伝統に関する8項目について、以下男女別に賛成 Agree と反対 Disagree に分けて示す。

1) 大相撲はスポーツではない

Sumo is not a real sport.

大相撲はスポーツではないという項目では、男性6.0%、女性9.2%、全体としては7.4%であった。多くの外人観客は大相撲はスポーツであると考えている(図15)。

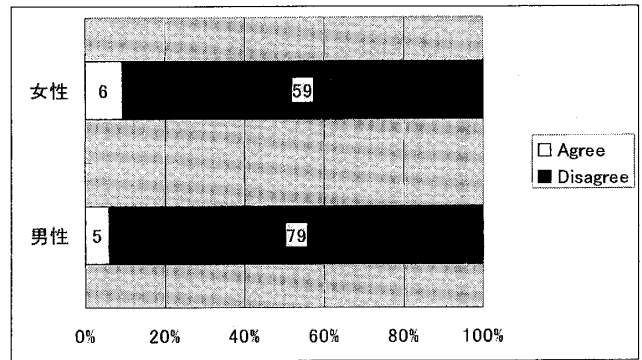


図15 Sumo is not a real sport.

2) 大相撲は日本でだけ人気がある

Sumo is only popular in Japan.

大相撲は日本だけで人気があるのかという項目では、男性の34.9%、女性の33.3%、全体では32.4%であった。大相撲は日本だけでなく世界に知られている(図16)。

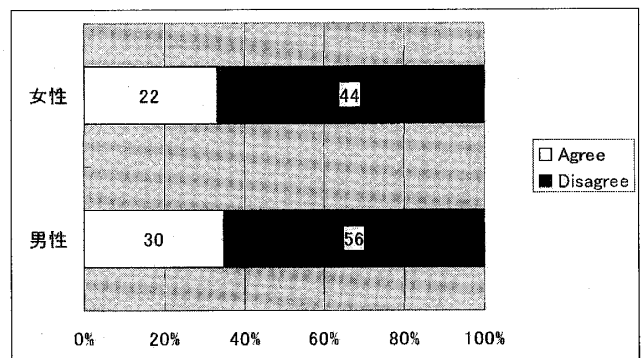


図16 Sumo is only popular in Japan.

3) アメリカの野球のように、大相撲は日本の国技だと思うか

Sumo is the "national pastime" of Japan, similar to baseball in America.

大相撲は日本の国技だと思うかという項目は、男性の55.4%、女性の68.9%、全体で61.1%の外人観客がそう思うと答えた(図17)。

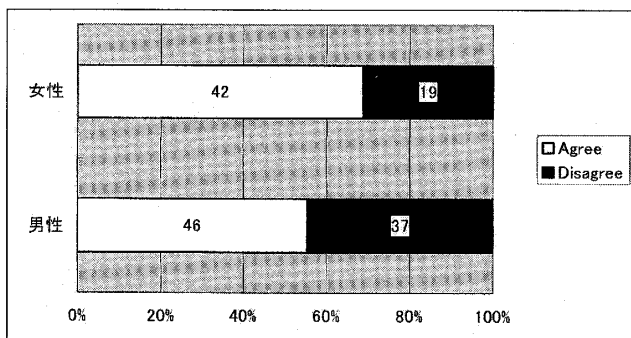


図17 Sumo is the “national pastime” of Japan, similar to baseball in America.

4) 外人力士が増えること

The increase in number of non-Japanese wrestlers.

外国人力士が増えることについての項目は、男性で78.8%，女性で80.6%，全体で79.6%の外人観客が賛成している。外人観客でも約20%は外人力士に反対している（図18）。

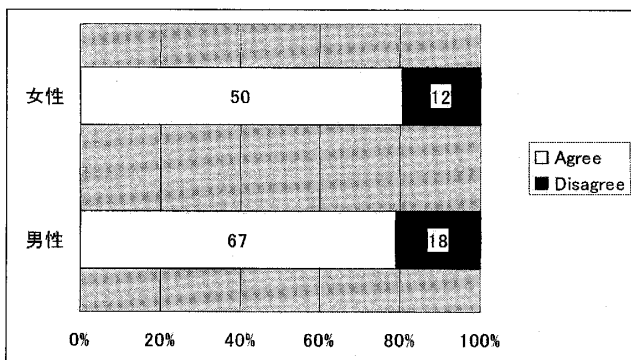


図18 The increase in number of non-Japanese wrestlers.

5) 学生力士が増えること

The increase in number of college-trained wrestlers.

学生力士が増えることの項目は、男性が78.8%，女性が83.3%，全体で80.7%の外人観客が賛成している（図19）。

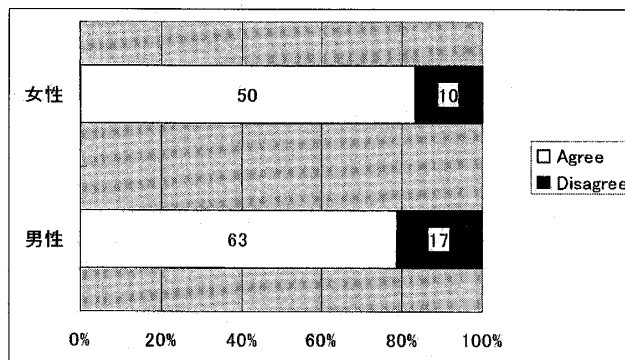


図19 The increase in number of college-trained wrestlers.

6) 切符の値段が高い

Tickets are too expensive.

大相撲の入場切符の値段についての項目は、男性が50.6%，女性が47.7%，全体では49.3%が高いと答えた。外人観客の女性は、値段が高いと思わないが3名上回っている（図20）。

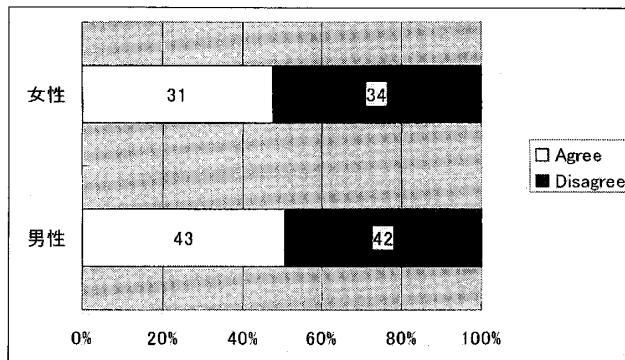


図20 Tickets are too expensive.

7) 仕切りの時間が長い

The build-up before each match (shikiri) takes too long.

仕切り時間がながいかどうかの項目は、男性が16.3%，女性が16.1%，全体では16.2%の外人観客が長いと感じていた。従って、80%以上の外人が仕切り時間を長いと感じていない（図21）。

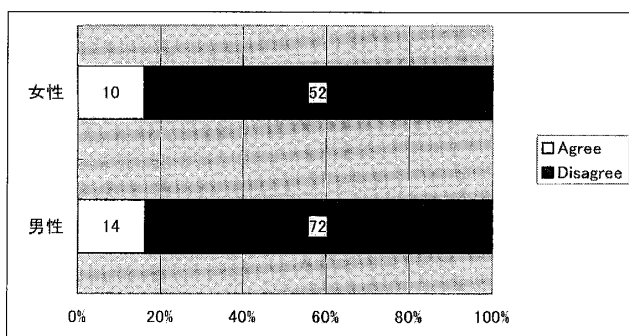


図21 The build-up before each match (shikiri) takes too long.

8) 結びの一番(終了時間)が早い

The matches end too early.

本場所の結びの一番が午後6時で早いかどうかについて、男性27.4%、女性32.8%、全体で29.7%の外人観客が早いと感じていた(図22)。

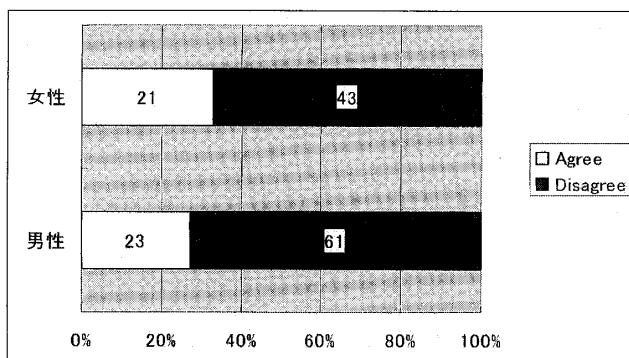


図22 The matches end too early.

IV まとめ

外人観客の女人禁制に対する意識は、日本人観客が肯定的であるのに対して否定的であった。特に女性の男女平等に対する意識は強く、外人の女性観客は大相撲の女人禁制に反対である。しかし、その判断は相撲関係者に任せるべきかという質問に対しては、73%の外人観客が関係者に任せるとしており、日本人観客より多い。また、伝統を重んじる社会があってもよいのではないかという質問にも、89.5%の外人観客があってもよいと答えており、日本人より多い%になっている。女性が土俵に上がれば女性ファンが増えるのではという質問では、外人観客の64.5%が増えるとしているが、日本人観客はふえないとこたえており、まったく反対の見解であった。

大相撲の伝統についての結果には、性差がほとんど見られなかった。外人力士が増えることについての質問では、日本人観客の場合は賛成と反対が拮抗しており、外人観客でも約20%の反対があった。また、切符の値段についての質問は、日本人観客の場合は80%が高いと答えているが、外人観客の場合は高いと安いがほぼ半々であった。

本報告は外国人観客の大相撲における女人禁制と伝統についての調査結果であり、男女別の性差を視点に分析したものである。今後は年齢差を視点とした報告を予定している。